

区政Now！（令和3年1月号）

「区政は区民を幸せにするシステムである」・・・西川太一郎

発行：荒川区

いじめない



1月7日、東京都に対して緊急事態宣言が発令されました。宣言中は、生活・健康のために必要な場合を除き、原則として外出を控えていただくなど、感染拡大を防ぐための取り組みに、ご協力をお願いいたします。

区では、荒川区医師会の全面協力の下PCRセンターでの検査や、医療提供体制維持のために区内医療機関に対する環境整備補助や医療従事者への特別手当の支給などの対策を強力に進めております。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、人との距離感が変わり、マスク越しやオンライン上のコミュニケーションのもどかしさやストレスを感じる方も少なくないと思います。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の猛威から、自分自身や大切な方を守るためには、区民の皆さまの自覚と辛抱強い取り組みが重要です。

区民の皆様には引き続きご不便おかけしますが、改めて命を守るための行動をさらに徹底いただきますよう、よろしくをお願いいたします。

医療機関及び介護・障害福祉等サービス事業所を支援します。

令和3年1月から、区民が安心して身近な医療機関を受診し、検査を受けられる体制の整備を推進するため、積極的に診療及び検査を行う医療機関に対して補助金を支給する、「発熱外来診療検査支援補助金支給事業」を開始します。

その他に、介護・障害福祉等サービス事業所の従事者、新規入所(利用者)、既入所(利用者)で、検査を希望する人を対象に無料でPCR検査を実施します。

PCR検査は、令和3年1月から令和3年3月までの期間中に各事業所につき1回、無症状・無自覚の人に対するスクリーニングとして行います。今後、65歳以上の高齢者に対しても行っていくことを予定しております。

引き続き、新型コロナウイルス感染症対策に、全力で取り組んでまいります。

コロナ禍における人権について考えましょう。

現在、新型コロナウイルス感染症の感染者や、さまざまな分野の最前線で私たちの健康と生活を守り支えて下さっている方々、そのご家族に対して、不当な差別や偏見の目が向けられていることが大きな社会問題となっています。



人権について考えましょう

これまでに経験したことのないウイルスに対し、大きな不安を抱くことは当然ですが、不安や恐れを過度に抱き、それらを遠ざけようとする心が、差別の根に繋がっていくといわれています。感染予防をしても、誰もが感染者になる恐れがあります。一人ひとりが正しい知識を基に思いやりをもった冷静な行動を心掛けて、差別ではなく、エールを送ることでともにウイルスに立ち向かっていきましょう。

主な事業

障害のある方が安心して暮らしていける取組を行っています。

12月3日～9日は障がい者週間でした。区ではこの期間に合わせ、障がい者施設での取組や制作物等を紹介するパネル展示を、区役所1階ロビー、アクロスあらかわで行いました。

区では、障がいのある方に向けた様々な支援を行っています。荒川区障害者就労支援センター「じょぶ・あらかわ」では、就労を目指す障がいのある方や、障がいのある方を雇用する企業からの相談を受け付けるとともに、就労に必要な知識・技能を習得できるように、清掃や受付対応、パソコン等を学ぶスキルアップ支援を行っています。一般の就労が困難な方には、印刷や菓子製造等の各種作業を請け負う福祉作業所をご利用頂けます。荒川たんぽぽセンターでは、障がいのある当事者からの各種相談を受け付けています。

今後とも、障がいのある方に地域で安心して暮らして頂けるよう、取組を推進してまいります。

「日暮里ファッションデザインコンテスト2020」を展示形式で開催しました。

11月17日～19日、「日暮里ファッションデザインコンテスト2020」を日暮里サニーホールで開催しました。このコンテストは、日暮里繊維街の活性化と若いクリエイターの応援を目的として2006年から開催しており、今年で15回目となります。

今回は、過去最高の4,447点の応募があり、そのうち39点が一次審査を通過しました。最終審査は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、展示形式で実施し、グランプリ(経済産業大臣賞)には、市勢善浩(いちせ・よしひろ)さんの作品が選ばれました。

グランプリ(経済産業大臣賞)、荒川区長賞、東京日暮里繊維街卸協同組合理事会賞をはじめ受賞した9作品の写真を、令和3年1月25日～2月26日まで「荒川区立日暮里地域活性化施設」1階おもてなしスペースにて展示します。ぜひご覧ください。

「読書を愛するまち・あらかわ」宣言の2周年を記念し、原画展を開催しています。

12月5日から1月24日まで、ゆいの森あらかわ3階の企画展示室で絵本の原画展を開催しています。「読書を愛するまち・あらかわ」宣言2周年を記念して行っているもので、グラフィックデザイナー、イラストレーター、絵本作家として高名な堀内誠一さんの15の著作からの原画や関係資料を展示しています。なかでも、ロングセラーである絵本『こすずめのぼうけん』は、全ページの原画に加えて、未掲載のものもご覧いただくことができます。

原画展の開催中は、1階のエントランスホールで、絵本『ぐるんぱのようちえん』のパネルと一緒に写真が撮れるコーナーも設置しています。

また、12月20日には、エントランスホールで堀内誠一の本の販売会を開催しました。地元書店と連携し、展示している原画の本に加え、ゆいの森あらかわの絵本専門士がお勧めする本を販売し、大変ご好評をいただきました。



展示に足を止める来場者



受賞した作品